



津幡南中だより

津幡町立津幡南中学校

校長 永井 隆和 TEL288-7420

令和3年5月6日(木) NO.2

校訓 ☆燃えるような情熱 ☆ひたむきな純粋さ ☆たゆみない向上心

5月

「令和の時代をつくる君たちへ」

校長 永井 隆和

日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、まずは5日間の連休が明け、生徒の皆さんが大きな事故やケガが無く登校してきた様子を見て安心しています。新学期が始まって1ヶ月、4月は新型コロナウイルスの感染に関わり、緊張・不安・戸惑い、そしてそれらに立ち向かおうとする強い気持ち、様々な思いが入り混じるスタートでした。誰もが経験したことのない学校生活でした。こんな時こそ、感染者や家族への温かい支援や見守りを行い、誹謗中傷や差別が生まれない南中校区であってほしいと願います。

そのような中で、次のような広告を見つけました。

みらいへ進む君たちへ。

きっと忘れることはないだろう。学校へ突然行けなくなったあの日を。

友だちと会えずに外に出られなかった、長い時間を。

当たり前は当たり前じゃなくなることがあると、たぶん初めて知った一年を。

だけど、もうひとつ忘れないで欲しいことがある。

それは、「あの時は大変だったよな」と笑い話をしあう日も、いつか必ずくるということ。

世界は、みんなが望むもっといい世界に、人の力で変えることができる。

その力を、僕らは想像力と呼んでいる。

今日から、素敵なみらいへ走り出そう。

僕たちみんなでいっしょに。



これは、今年の元旦の集英社の広告です。このメッセージを目にした瞬間、今の南中の生徒、教職員、保護者、地域の皆さんへの励ましのエールのような気がしました。今、君たちしか経験できないことがあるからこそ、君たちしか作れない未来があると私は信じています。がんばれ南中生！！

保護者の皆様、まずは私たち大人が元気で前向きに生きる姿を子供たちに見せましょう。

今後ともご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【GIGA スクール構想の実現へ】

昨年度末より、1人1台のパソコンなどの端末を使って学ぶ環境を整える「GIGA スクール構想」が進められています。本校でもタブレットが全生徒に貸与されています。教室には、無線LANが取り付けられ、大型モニターも設置されました。授業では、子どもたちが意欲的に活動に取り組む姿が見られます。すでに、スマホやICT機器を使い慣れているからでしょう。今後の学習意欲の向上や理解の深まりが期待されます。

さて、春先ベストセラーになった、新潮新書の「スマホ脳」(アンデシュ・ハンセン著)はもう読まれましたか?その中のエピソードに、iPhoneなどで有名なアップル社の創始者のスティーブ・ジョブズ氏自らが、子どもには14歳になるまでスマホを与えなかったと書かれてありました。(また、「スマホはポケットサイズのカジノ」と同じとも。)

私たちは今、デジタル機器とどう繋がり、どんな使い方が正しいのかが問われていると思います。

TPOを考えた言葉遣いをしよう

T・・・時（時間） P・・・場所 O・・・場面（機会）を意識することで、自分の使う言葉を考えながら生活を送ることに取り組みます。言葉遣いは、大人になる過程の中でも相手と気持ちよくコミュニケーションをとるために必要な「力」の一つです。特に最近では、SNS上の言葉の使い方で仲が悪くなったり、誤解が生じたりするなどのトラブルが心配されています。5月の全校集会でも生徒に向けてこれらのことを確認しました。

津幡南中学校のキラリ人



今年度も津幡南中学校キラリ人の取組を継続して行っています。キラリ人は、先生方が、学校生活を送っている生徒の中で他の生徒のお手本になる生徒を紹介するものです。今年度も毎週金曜日の給食時に全校放送で紹介し、職員室前の掲示板に掲示していきます。来校される機会がありましたら、ぜひご覧ください。

検温カードの記入と保護者のハンコ（サイン）をお願いします

連休前、県は県民にステージⅢ（感染まん延特別警報）を発表しました。まだまだ新型コロナウイルス感染症の収束が見えません。感染症対策の基本は、まずは「自衛」です。今年度も朝の生徒の体温を測定し、検温カードへの記入と保護者のハンコ（サイン）をよろしく願いいたします。土日祝日も平日同様記入をお願いいたします。休日明けに担任が健康状態とともに記入のチェックをいたします。

学習指導より 生徒のみなさんへ

《定期テストとは？（各学期の中間テストや期末テスト）》

ある程度の期間、学習した内容を出題するテストです。「中間テスト」「期末テスト」と呼ばれます。皆さんが高校入試を受けるとき、中学校からそれぞれの高校に、生徒一人一人について「調査書」というものを提出します。各高校は、「入試がその日のテストの点数だけで決着がつけられるようではいけない。普段の学習態度や学習状況など、本人の日常生活も重視し、それを考慮に入れた入試選抜を考えるべきである。」と考えています。つまり、高校入試の時“だけ”点数を取ればよいというものではないのです。

【調査書 = 3年間の通知表 = 定期テストの成績 + 授業中の態度 + 宿題や作品の提出状況】
ということです。すなわち、「高校入試で合格する生徒」は、「学校生活を真面目に頑張る生徒」
ということです。このことから、定期テストはとても重要なテストです。

なお、中間テストは、5月21日（金）に実施予定です。

5月の学習目標について

時間のけじめをつけよう

- ・移動教室は早めに！
- ・チャイムとともに学習を始める
- ・家庭学習時間を増やす

5月の学習目標は「時間のけじめをつけよう」です。4月の学習強化期間では、ベル学などは多くの生徒が意識できていました。今月は、それにプラスして家庭学習時間を意識していきましょう。

第2回学習強化期間を5月11日（火）～20日（木）で実施します。今月は、学年プログラム委員を中心に、学習時間チェックを行います。家庭学習を習慣化させていきましょう！